■ 第2回　e-ラーニング教材作成セミナー

より魅力ある e-ラーニング教材の作成と e-ラーニングを活用した授業の実施方法

講　師：金沢電子出版株式会社　佐藤 伸平 代表取締役

開催日：2014 年 6 月 25 日 (水) 17:30 ～ 19:00
場　所：昭和大学　旗の台校舎　1 号館 6 階会議室

Active learning: 受け身の講義から能動的・双方向の授業へ

1. e- ラーニングを活用した Active learning 授業を実践する
2. e- ラーニング教材を活用して知識の定着をはかる








第2回 e-ラーニング教材 作成セミナー 参加者名簿

日時:2014年6月25日（水） 17:15 開場, 17:30 開講
場所:昭和大学 旗の台校舎 1号館 6階会議室

大学	所属	氏名
昭和大学	口腔解剖学	柳澤 伸彰
	口腔生理学	清本 聖文
	口腔生化学	宇山 理紗
	口腔微生物学	片岡 嗣雄
	歯科薬理学	髙見 正道
	口腔病理学部門	福島 美和子
	歯科放射線医学部門	荒木 和之
	歯科保存学 歯内治療科	高林 正行
	歯科保存学 歯内治療科	坂上 斉
	歯科保存学 総合診療歯科学部門	伊佐津 克彦
	歯科保存学 歯科理工学部門	堀田 康弘
	歯科保存学 美容歯科学部門	
	歯周病学	
	歯科矯正学	市川 雄大
	歯科補綴学	田中 晋平
	インプラント歯科学	
	顎口腔疾患制御外科学	
	全身管理歯科学 歯科麻酔科学部門	飯島 毅彦
	全身管理歯科学 総合内科学部門	
	高齢者歯科学	七田 俊晴
	小児成育歯科学	小野 陽子
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 障害者歯科学部門	船津 敬弘
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 地域連携歯科学部門	松浦 光洋
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 顎関節症治療学部門	
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 口腔リハビリテーション医学部門	
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 口腔衛生学部門	内海 明美 大岡 貴史
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 口腔医学歯学教育学部門	片岡 竜太
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 口腔医学歯学教育学部門	津軽 祐三子
	ｽﾍﾟｼｬﾙﾆｰｽﾞ口腔医学 口腔医学歯学教育学部門	乾 さやか
	昭和大学歯科病院図書室	高橋 由佳
	医学部 医科薬理学教室	小山田 英人
	総務部総務課 フォトセンター（撮影）	伊東 孝詩
	総務部総務課 フォトセンター	岩野 謙一郎
岩手医科大学	解剖学講座	藤村 朗
	補綴・インプラント学講座	小林 琢也
	口腔顎顔面再建学講座	熊谷 章子
	歯科保存学講座歯周療法学分野	須和部 京介
	学務部 歯学部教務課	内金崎 智
北海道医療大学	口腔機能修復・再建学系咬合再建補綴学分野	越野 寿
	口腔機能修復・再建学系咬合再建補綴学分野	豊下 祥史
	生体機能・病態学系顎顔面口腔外科学分野	草野 薫
	口腔構造・機能発育学系小児歯科学分野	倉重 圭史
	生体機能・病態学系臨床口腔病理学分野	吉田 光希

第 2 回 e-ラーニングセミナー
－e-ラーニングを活用した授業が目指すもの－

日時：平成 26 年 6 月 25 日

場所：昭和大学旗の台校舎 1 号館 6 階会議室

目的

1．**Active learning**:　受け身の講義から能動的・双方向の授業へ

　1）Flipped Classroom　（反転授業：基本は事前学習で学んでから授業で応用力を身につける）

　事前学習→学生が考える→解説講義

　2）学生の理解度を把握し、それに応じた解説講義を行う。

2. **知識の定着**

　1）授業後に、重要項目の知識の定着を図る。

　2）反復学習の効果を測定する。　チャレンジテスト

内容

Part I. 目的 1 に対して

1）授業例の設定　(文部科学省 IT 連携授業も同様)

（1）　対象学年、ユニット　D5　全身疾患と口腔内科　高血圧症

（2）　授業の長さ　30 分　事前学習　国家試験演習　演習（リソース講義）復習テスト

2）ｅ-ラーニングコースの準備　(学務課)

3）e-ラーニングを活用した授業の流れを考える（授業設計）資料 P2

4）**事前学習**　授業前に既習事項を整理する。(課題に取り組む)

- ■ コースにアクセスする(学生)　資料Ｐ5
- ■ 事前学習を実施する(学生)　　資料Ｐ6
- ■ 事前学習の実施状況の確認　(教員)　資料 P12

5）**授業中の活用**　課題に取り組む　→　理解度を評価　→　リソース講義

　習熟度の評価

- ■ 国家試験演習　　**正答率・誤答例　集計結果の確認**
- ■ 「高血圧症　演習１」
- ■ 「高血圧症　演習２」
- ■ 「高血圧症　演習３」
- ■ 「高血圧症　演習４」
- ■ 「高血圧症　演習５」　**正答率・誤答例　集計結果の確認**
- ■　まとめ試験　　**正答率・誤答例　集計結果の確認**

６）**復習課題**　重要事項の反復・定着　学生の履修状況の確認

Part II.　目的２に対して

１）演習試験問題（例：10 題）の選択とコースの作成

２）授業中に第１回模擬試験（演習試験問題）を実施

３）正答率などを見て、問題毎の学生の習熟度を評価する。

４）授業中にプリントを用いて、解説講義を実施　（習熟度が低い問題を中心に）

５）正答率が高い問題は除くあるいは難易度を調整し、正答率が低い問題については、類題を追加あるいは難易度を調整、選択肢の順序を変えて第 2 回模擬試験のコースを作成する。

６）自宅学習のための復習問題と解説を作成する。

７）自宅学習のためのチャレンジ問題を作成する。

第１回 e-ラーニングセミナーの復習用コンテンツ

１．e-ラーニングの導入と利用の手引き

２．moodle 体験実習の手引き

１）コンテンツ編集

２）解説ページの作成

３）資料をアップする

４）多肢選択問題を作成する

５）小テストを作成する

第2回　e-ラーニング教材作成セミナー タイムスケジュール

■ 開催日 ： 2014年6月25日(水)
■ 場　所 ： 昭和大学　旗の台校舎　1号館6階会議室
■ 講　師 ： 金沢電子出版株式会社　佐藤 伸平 代表取締役

時間	テーマ	担当	会場
17:30～17:40	**講師紹介と参加者紹介**	片岡	1号館6階会議室
17:40～18:20	1. **e-ラーニングを活用した Active learning 授業を実践する** **【目的】** ① Flipped Classroom （反転授業：基本は事前学習で学んでから授業で応用力を身につける）事前学習→学生が考える→解説講義 ② 学生の理解度を把握し、それに応じた解説講義を行う。模擬授業を例に授業の流れと教材の準備、習熟度の程度の実際を学ぶ。 **【内容】** ① **事前学習**：授業前に既習事項を整理する。（課題に取り組む） ② **授業中の活用**：課題に取り組む　→　理解度を評価　→　リソース講義　習熟度の評価 ① **復習課題**：重要事項の反復・定着	片岡 佐藤 乾	
18:20～	2. **e-ラーニング教材を活用して知識の定着をはかる** **【目的】** ① 授業後に、重要項目の知識の定着を図る。 ② 反復学習の効果を測定する。 チャレンジテスト **【内容】** ① 授業中に**第1回模擬試験**（演習試験問題）を実施 ② 正答率などを見て、問題毎の学生の習熟度を評価する。 ③ 授業中にプリントを用いて、解説講義を実施 （習熟度が低い問題を中心に） ④ 正答率が高い問題は除くあるいは難易度を調整し、正答率が低い問題については、類題を追加あるいは難易度を調整、選択肢の順序を変えて**第2回模擬試験**のコースを作成する。 ⑤ 自宅学習のための**復習問題**と解説を作成する。 ⑥ 自宅学習のための**チャレンジ問題**を作成する。	佐藤	

【第2回e-ラーニング教材作成セミナー】

（例）模擬コース（具体的な教材）
学年 ：D5
コース名 ：全身疾患と口腔内科（高血圧）
想定時間：45分

＜各回の授業前の作業 ＞

e-ラーニングコンテンツの作成と設置（開講前の作業）
各回毎の授業進行（word, ppt等で作成）

	授業形式	項目	目的	設定	問題形式（モジュール）
授業前	e-ラーニング	事前学習課題	授業内容を予め知る。既習事項の確認。	問題数 正答の表示 正誤判定 フィードバックの有無	穴埋め
授業開始	e-ラーニング	国家試験問題	授業内容が国家試験にどのように出題されているか知る。	問題数 正答の表示 正誤判定 フィードバックの有無	多肢選択
20分	e-ラーニング	演習形式（カルテ使用）	実際の臨床で授業内容がどのように活用されるか知る。	問題数 正答の表示 正誤判定 フィードバックの有無	穴埋め
45分	リソース講義	リソース講義	事前学習、国家試験、演習で学生の理解が不十分と思われる点について講義する。	問題数 正答の表示 正誤判定 フィードバックの有無	pptで実施 資料配付
75分	e-ラーニング	まとめテスト	一連の授業を通じての習熟度を知る。	問題数 正答の表示 正誤判定 フィードバックの有無	穴埋め
90分	e-ラーニング	復習課題	知識の修得を確実なものとする。	問題数 正答の表示 正誤判定 フィードバックの有無	
授業後					

IT教材化

第 2 回 e-ラーニング教材作成セミナー

日時：平成 26 年 6 月 25 日（水）
場所：昭和大学旗の台校舎　1 号館 6 階会議室

・サイト URL：　https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/
「イー　エル　ゴ」・「ピーオーオーエル　イチ　サン」
・コース名：　「D5 全身疾患と口腔内科」

年間授業計画

1.　4／25　　高血圧症,不整脈
2.　5／16　　循環器系疾患（狭心症、心筋梗塞）
3.　5／30　　口腔顎顔面領域の痛みの基礎と臨床（慶応大学　和嶋先生）
4.　6／13　　中間試験 I　情報リテラシーI
5.　6／20　　全身疾患と口腔の病態　(美島)　全身疾患を考慮した口腔のケア(弘中)
6.　7／11　　情報リテラシーII
7.　10／10　　消化器潰瘍、脳血管障害、糖尿病　その他
8.　10／31　　甲状腺疾患、喘息、腎疾患　その他
9.　12／20　　中間試験 II　歯科心身症

各回の授業の流れ

演習）事前学習課題の実施　前日まで

１．演習）国家試験演習 I

２．演習）口腔内科演習「高血圧症」（１）～（５）

３．講義----------記入用プリント配布

４．試験）口腔内科「高血圧症」まとめ試験

５．試験）口腔内科演習「高血圧症」（１）～（５）（復習用）

６．試験）口腔内科「高血圧症」確認試験（復習用）

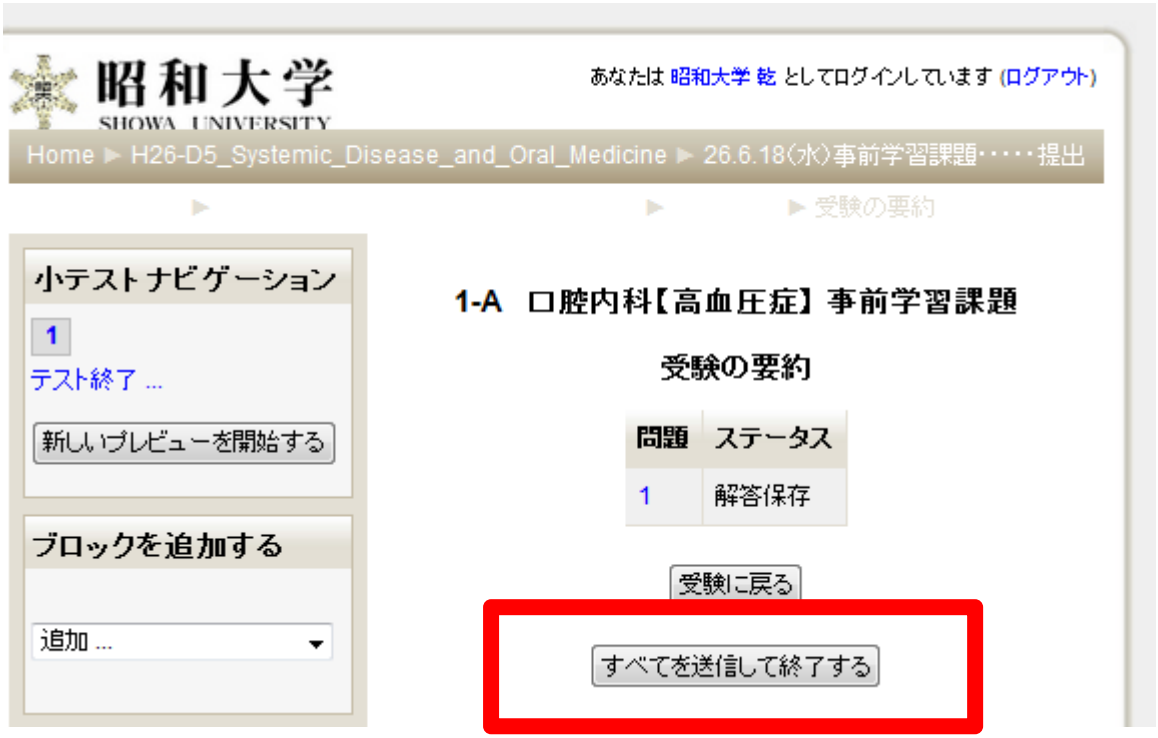
７．アンケート

【第2回e-ラーニング教材作成セミナー】

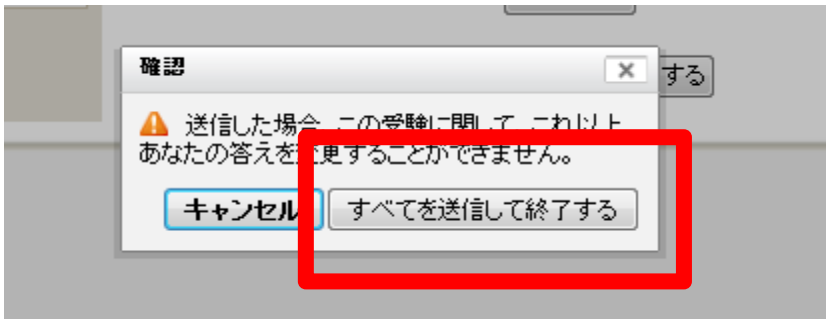
26.6.18(水)事前学習課題
D5 全身と口腔内科
学習内容:高血圧症

1-A　口腔内科【高血圧症】事前学習課題
https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/course/view.php?id=128&section=1





「すべてを送信して終了する」をクリック



「すべてを送信して終了する」をクリック

血圧を変える要因

次の空欄を埋めよ

血圧を変える要因は次のようになる。

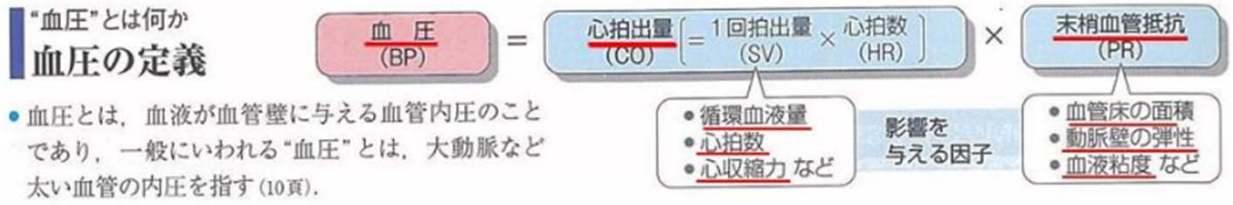
血圧 ＝ 心拍出 量 × 血管 抵抗

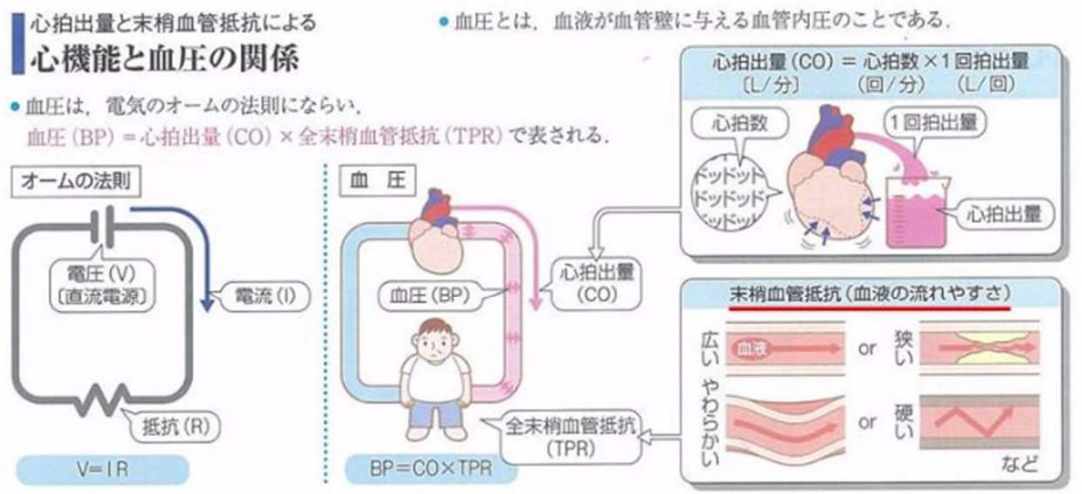
正答:

心拍出量＝(循環血液量、心拍数、心収縮力)

全末梢血管抵抗＝(全血管床の面積、動脈壁の弾性、血液の粘性)

血圧 ＝ 心拍出量 × 全末梢血管抵抗

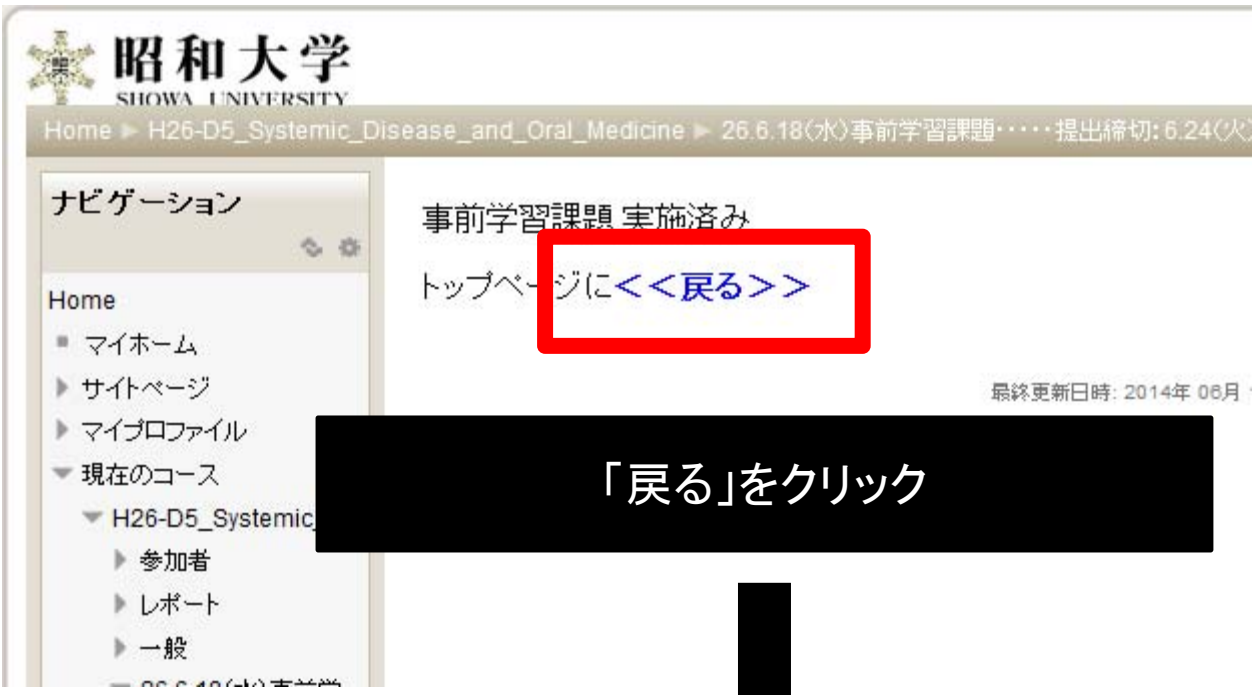




*誤答のあるものは十分に復習しておくこと

事前学習課題 実施済みへ

「事前学習課題実施済みへ」をクリック



「戻る」をクリック

TOPページへ

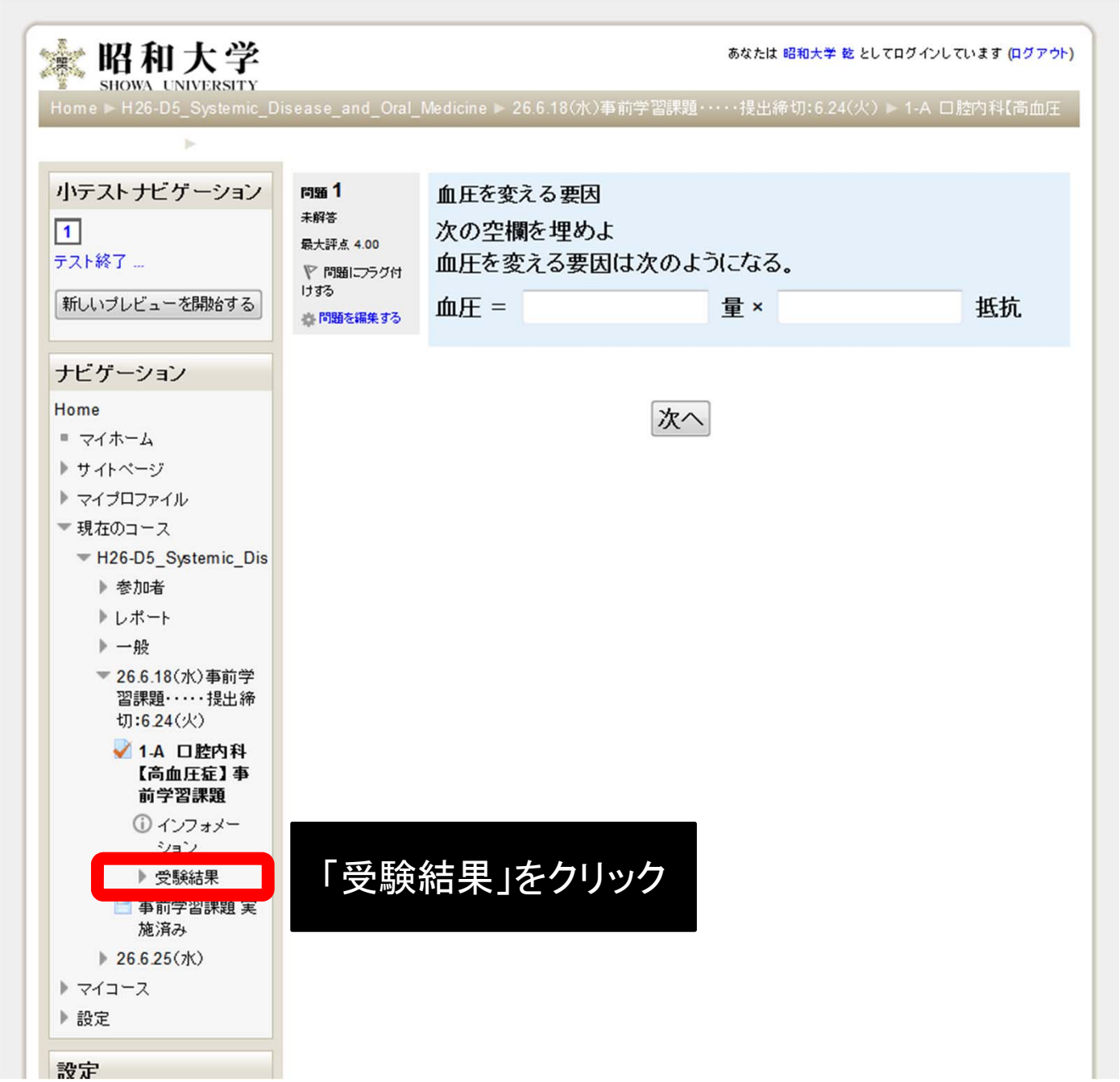
第2回e-ラーニング教材作成セミナー

1. e-ラーニングを活用したActive learning 授業を実践する

＜学生の履修状況の確認、正答率と誤答例の確認方法＞

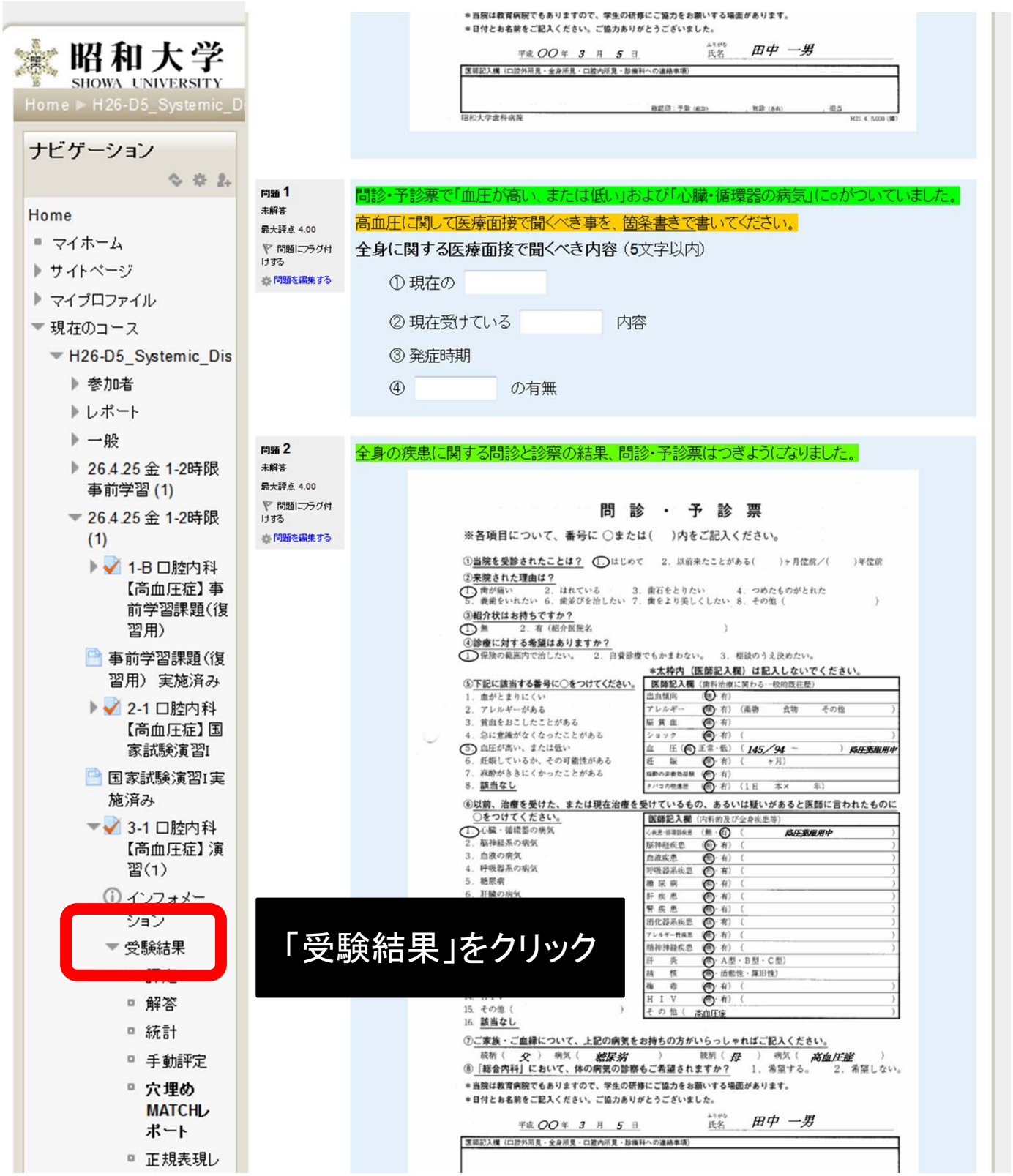
（例）模擬コース（具体的な教材）
学年 ：D5
コース名 ：全身疾患と口腔内科（高血圧）
想定時間：45分

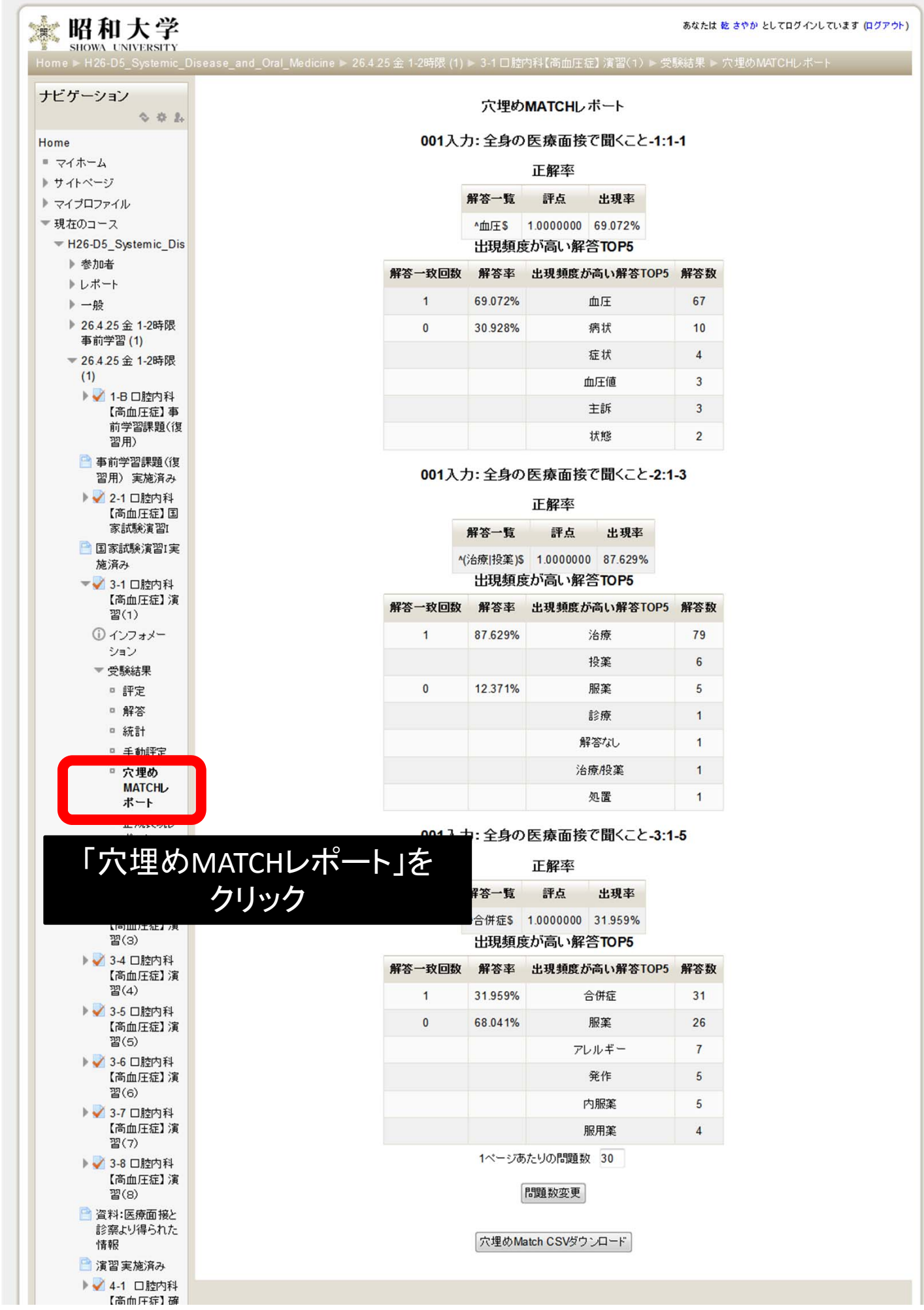
1）履修状況
事前学習課題提出状況を確認する



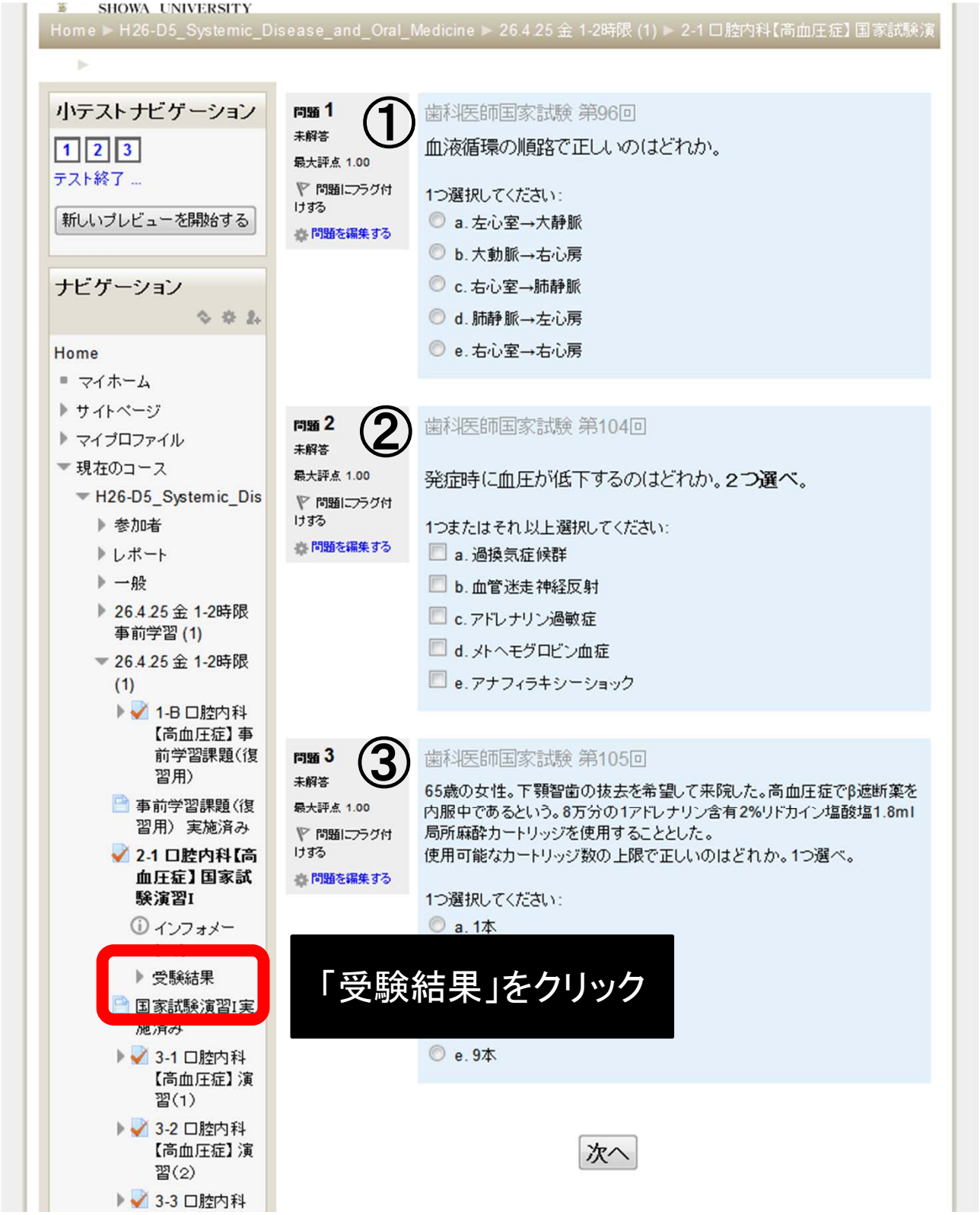

昭和大学
SHOWA UNIVERSITY
Home ▶ H26-D5_Systemic_Disease_and_Oral_Medicine ▶ 26.4.25 金 1-2時限 事前学習 (1) ▶ 1-A 口腔内科【高血圧症】事前学習課題 ▶ 受験結果 ▶ 解答
ナビゲーション
Home
マイホーム
サイトページ
マイプロファイル
現在のコース
H26-D5_Systemic_Dis
参加者
レポート
一般
26.4.25 金 1-2時限 事前学習 (1)
0 接続確認後のアンケート
アンケート済み
1-A 口腔内科【高血圧症】事前学習課題
インフォメーション
受験結果
解答
手動評定
穴埋め MATCHレポート
正規表現レポート
事前学習課題 実施済み
26.4.25 金 1-2時限 (1)
26.4.25 金 1-2時限 事前学習 (2)
26.4.25 金 1-2時限 (2)
26.5.16 金 1-2時限 事前学習
26.5.16 金 1-2時限
26.5.30 金 1-2時限 事前学習
26.5.30 金 1-2時限
26.6.13 金 1-2時限 事前学習
26.6.13 金 1-2時限
26.6.13 金 中間試験
26.10.10 金 1-2時限 事前学習
26.10.10 金 1-2時限
26.10.31 金 1-2時限 事前学習
26.10.31 金 1-2時限
26.11.21 金 1-2時限
マイコース
設定
設定
小テスト管理
設定を編集する
グループオーバーライド
ユーザオーバーライド
小テストを編集する
プレビュー
ローカルに割り当てる
レポートに含む内容
受験者 小テストを受験したことのある登録ユーザ
受験状況 進行中 期限切れ 終了 未送信
表示オプション
ページサイズ 30
表示 問題テキスト 解答 正解
レポートを表示する
この小テストは許可されています。
名 : すべて A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
姓 : すべて A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
ページ: 1 2 3 4 (次へ)
テーブルデータをダウンロード
ダウンロード
「解答」をクリック
姓 / 名
IDナンバー
メールアドレス
状態
評点/100.00
解答 2
片岡 竜太 受験をレビューする
003
kataoka@dent.showa-u.ac.jp
進行中
-
-
14D5083
終了
33.33
パート 1: 血液; パート 2: 血管
終了
57.14
パート 1: 心拍出量; パート 2: 抹消血管
14D5031
終了
28.57
パート 1: ; パート 2:
14D5049
終了
66.67
パート 1: 心拍出; パート 2: 全末梢血管
14D5068
終了
76.19
パート 1: 心拍出; パート 2: 末梢血管
14D5006
終了
4.76
パート 1: 心拍出漏; パート 2: 血管
14D5007
終了
33.33
パート 1: 心拍出; パート 2: 血管
14D5035
終了
71.43
パート 1: 心拍出; パート 2: 全末梢血管
14D5102
終了
95.24
パート 1: 心拍出; パート 2: 全末梢血管
14D5030
終了
71.43
パート 1: 心拍出; パート 2: 血管
14D5063
終了
52.38
パート 1: 心拍出; パート 2: 抹消血管
14D5027
終了
85.71
パート 1: 心拍出; パート 2: 血管
14D5059
終了
80.95
パート 1: 心拍出; パート 2: 末梢血管
14D5004
終了
38.10
パート 1: 心拍出;

2）穴埋め問題の場合
穴埋めマッチレポートで学生解答の正解率を確認する




昭和大学
SHOWA UNIVERSITY
あなたは 乾 さやか としてログインしています (ログアウト)
Home ▶ H26-D5_Systemic_Disease_and_Oral_Medicine ▶ 26.4.25 金 1-2時限 (1) ▶ 3-1 口腔内科【高血圧症】演習(1) ▶ 受験結果 ▶ 穴埋めMATCHレポート
ナビゲーション
Home
マイホーム
サイトページ
マイプロファイル
現在のコース
H26-D5_Systemic_Dis
参加者
レポート
一般
26.4.25 金 1-2時限 事前学習 (1)
26.4.25 金 1-2時限 (1)
1-B 口腔内科【高血圧症】事前学習課題(復習用)
事前学習課題(復習用) 実施済み
2-1 口腔内科【高血圧症】国家試験演習I
国家試験演習I実施済み
3-1 口腔内科【高血圧症】演習(1)
インフォメーション
受験結果
評定
解答
統計
手動評定
穴埋めMATCHレポート
3-4 口腔内科【高血圧症】演習(4)
3-5 口腔内科【高血圧症】演習(5)
3-6 口腔内科【高血圧症】演習(6)
3-7 口腔内科【高血圧症】演習(7)
3-8 口腔内科【高血圧症】演習(8)
資料:医療面接と診察より得られた情報
演習 実施済み
4-1 口腔内科
「穴埋めMATCHレポート」をクリック
穴埋めMATCHレポート
001入力: 全身の医療面接で聞くこと-1:1-1
正解率
解答一覧 評点 出現率
^血圧$ 1.0000000 69.072%
出現頻度が高い解答TOP5
解答一致回数 解答率 出現頻度が高い解答TOP5 解答数
1 69.072% 血圧 67
0 30.928% 病状 10
症状 4
血圧値 3
主訴 3
状態 2
001入力: 全身の医療面接で聞くこと-2:1-3
正解率
解答一覧 評点 出現率
^(治療|投薬)$ 1.0000000 87.629%
出現頻度が高い解答TOP5
解答一致回数 解答率 出現頻度が高い解答TOP5 解答数
1 87.629% 治療 79
投薬 6
0 12.371% 服薬 5
診療 1
解答なし 1
治療/投薬 1
処置 1
001入力: 全身の医療面接で聞くこと-3:1-5
正解率
解答一覧 評点 出現率
^合併症$ 1.0000000 31.959%
出現頻度が高い解答TOP5
解答一致回数 解答率 出現頻度が高い解答TOP5 解答数
1 31.959% 合併症 31
0 68.041% 服薬 26
アレルギー 7
発作 5
内服薬 5
服用薬 4
1ページあたりの問題数 30
問題数変更
穴埋めMatch CSVダウンロード

2）MCQの場合
統計で学生解答の正解率を確認する




ナビゲーション
Home
マイホーム
サイトページ
マイプロファイル
現在のコース
H26-D5_Systemic_Dis
参加者
レポート
一般
26.4.25 金 1-2時限 事前学習 (1)
26.4.25 金 1-2時限 (1)
1-B 口腔内科【高血圧症】事前学習課題(復習用)
事前学習課題(復習用) 実施済み
2-1 口腔内科【高血圧症】国家試験演習I
インフォメーション
受験結果
評定
統計
手動評定
MATCHレポート
正規表現レポート
国家試験演習I実施済み
3-1 口腔内科【高血圧症】演習(1)
3-2 口腔内科【高血圧症】演習(2)
3-3 口腔内科【高血圧症】演習(3)
3-4 口腔内科【高血圧症】演習(4)
3-5 口腔内科【高血圧症】演習(5)
3-6 口腔内科【高血圧症】演習(6)
3-7 口腔内科【高血圧症】演習(7)
3-8 口腔内科【高血圧症】演習(8)
資料:医療面接と診察より得られた情報
演習 実施済み
4-1 口腔内科【高血圧症】確認試験
確認試験 実施済み
5-1 口腔内科【高血圧症】国家試験演習II
国家試験演習 実施済み
5-2 アンケート
このページのみに関する設定
統計計算: 最初の受験
レポートを表示する
小テスト情報
フルリポートをダウンロードする: CSVテキストファイル
ダウンロード
小テスト名 2-1 口腔内科【高血圧症】国家試験演習I
コース名 全身疾患と口腔内科(口腔内科) (Systemic Disease and Oral Medicine)
最初の受験数 (評定済み) 96
受験総数 (評定済み) 96
最初の受験評点の平均値 68.06%
すべての受験評点の平均値 68.06%
評点の中央値 (最初の受験) 66.67%
標準偏差 (最初の受験) 23.65%
評点分布の歪み (最初の受験) -0.3080
評点分布の尖度 (最初の受験) -0.0915
内部整合性係数 (最初の受験) 17.84%
「統計」をクリック
造分析
ストファイル
ダウンロード
問題# 問題名 受験 ファシリティ指標 標準偏差 当てずっぽうの評点 意図された加重 有効加重 識別指数 識別率
① A-1-5血液循環 96 82.29% 38.37% 20.00% 33.33% 32.63% 3.38% 5.65%
② 104C-105 血圧 96 84.38% 24.40% 33.33% 25.70% 24.57% 40.96%
③ 105D-48 麻酔カートリッジの本数 96 37.50% 48.67% 20.00% 33.33% 41.68% 6.69% 12.50%
（正答率）
問題ポジションの統計
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
%
ポジション
ファシリティ

第2回moodle 体験実習の手引き

2014/6/25

金沢電子出版株式会社

はじめに

- 今回の体験実習の内容
  - 前回の復習
  - 第1回模擬試験を作成する
  - 第2回模擬試験を作成する
  - 復習テストを作成する
  - チャレンジテストを作成する

- 第1回模擬試験を作成する
  - 国家試験の過去問を受験させる
  - 模擬試験形式で学生の現在の理解度を把握する
  - 学生の苦手分野を把握する
- 第2回模擬試験を作成する
  - 模擬試験の結果を踏まえて再試験を行う
  - 第1回模擬試験の成績を踏まえて出題問題を調整する
- 復習テストを作成する
  - 重要な問題を学生に理解させる
  - 問題の詳しい解説を学生に提示する
  - 理解できるまで繰り返し学習させる
- チャレンジテストを作成する
  - 学生にたくさんの問題を解かせる
  - 授業の空き時間や家庭などでも手軽に学習できるようなコンテンツを提供する

前回の復習

- コーストップへの戻り方
  - 何かをした後で，コースのトップ画面に戻る方法を復習
- コンテンツの編集モード
  - 解説ページや小テストなどのコンテンツを編集できるモード，通常のモードを切り替える方法を復習

復習：moodleにログインする

- 以下にアクセスしてログインする
  - https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/
  - ユーザ名：
  - パスワード：
- 「第2回セミナーコース」をクリックする

復習：コーストップに戻る

- 何か作業をしていてコースのトップ画面に戻るには、画面上部の文字リンク（コース名）をクリックします。



復習：コンテンツ編集モード

- コンテンツを作成したり編集したりする際には、画面右上のボタンを押して「編集モード」に入ります。作業後に「編集モード」を終了します。





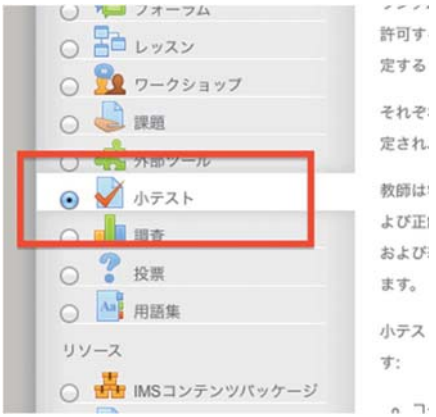
第1回模擬試験を作成する

- 目的
  - 国家試験の過去問を受験させる
  - 模擬試験形式で学生の現在の理解度を把握する
  - 学生の苦手分野を把握する
- 獲得目標
  - 模擬試験小テストを新規に作成できる
  - 問題バンクから任意に問題を出題できる
  - 模擬試験小テストの制限時間を簡単な設定ができる

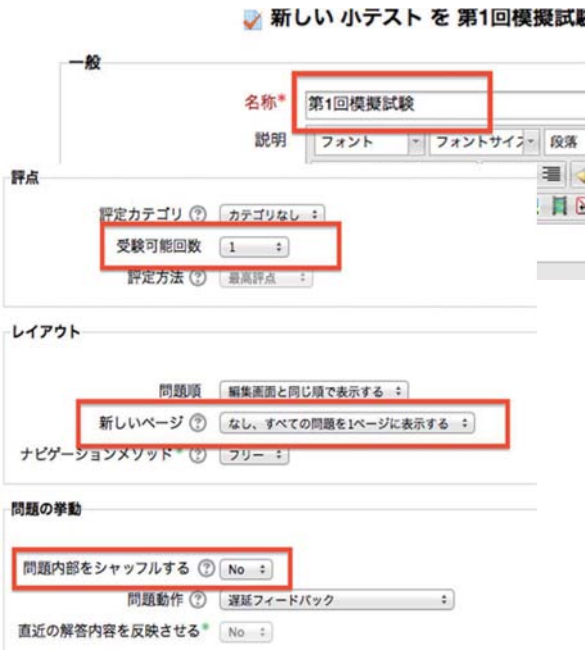
第1回模擬試験：小テストの追加

- 「活動またはリソースを追加」をクリックし、「小テスト」を選んで「追加」ボタンを押します。





第1回模擬試験：の設定



- 以下のように設定する
  - 名称：第1回模擬試験
  - 受験可能回数：1
  - 新しいページ：なし、すべての問題を1ページに表示する
  - 問題内部をシャッフルする：No

- レビューオプションの設定
  - 「受験」「問題の正否」「得点」のみにチェックを入れる
  - 「正解」「フィードバック」は表示しない



- 設定完了後に「保存して表示する」をクリックする
- 「小テストを編集する」をクリックする.



第1回模擬試験：問題の追加

- 問題バンクでカテゴリ「国試過去問」を選択
- 「問題」をクリックして名前順に並び替え
- 全ての問題を選択（上部の□をクリック）
- 「小テストに追加する」をクリック



第2回模擬試験を作成する

- 目的
  - 模擬試験の結果を踏まえて再試験を行う
  - 第1回模擬試験の成績を踏まえて出題問題を調整する
- 獲得目標
  - 第1回模擬試験小テストのコピーが作成できる
  - 出題する問題を増減できる
  - 問題データを改変できる

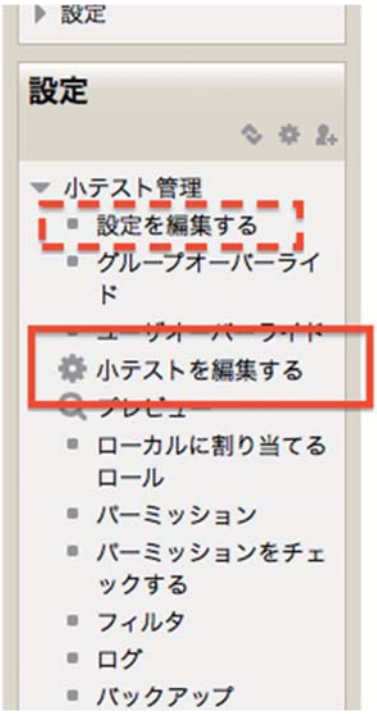
第2回模擬試験：小テストの複製

- 「第1回模擬試験」の複製（コピーアイコン）をクリック
- 「新しいコピーを編集する」をクリック
- 名称「第2回模擬試験」を記入し「保存してコースに戻る」



第2回模擬試験：問題の編集

- 小テスト「第2回模擬試験」をクリック
- 左側の「設定」ブロックの「小テスト管理」の「小テストを編集する」をクリック
- 機能の解説
  - 「設定を編集する」小テストの設定の編集用
  - 「小テストを編集する」小テストの問題の編集用

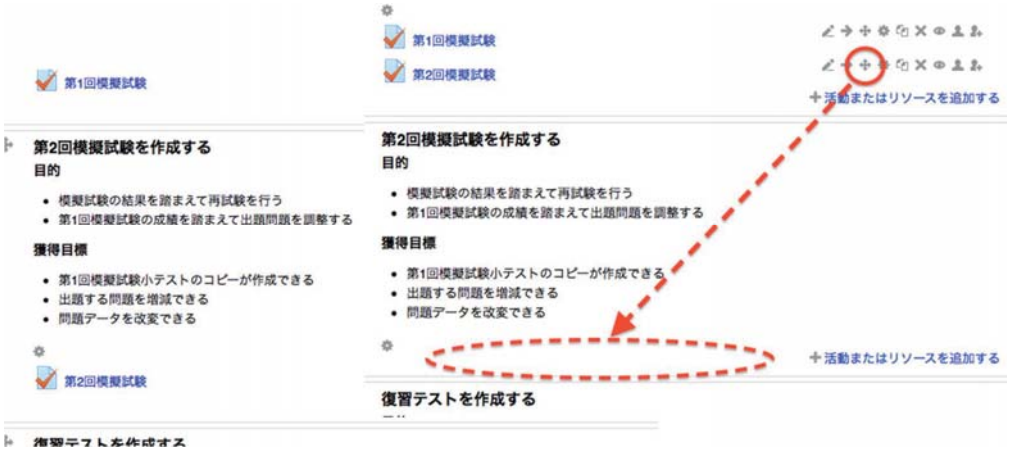


- 出題しない問題を選択し「選択したものを削除する」をクリック
- または，削除アイコン（×マーク）をクリック



第2回模擬試験：小テストの移動

- 「第2回模擬試験」の移動アイコン（十字マーク）をドラッグ＆ドロップで所定の場所に移動させる

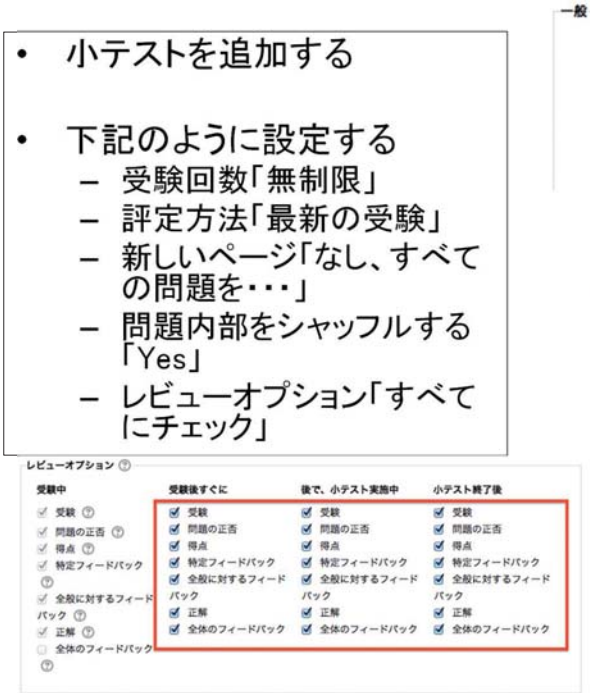


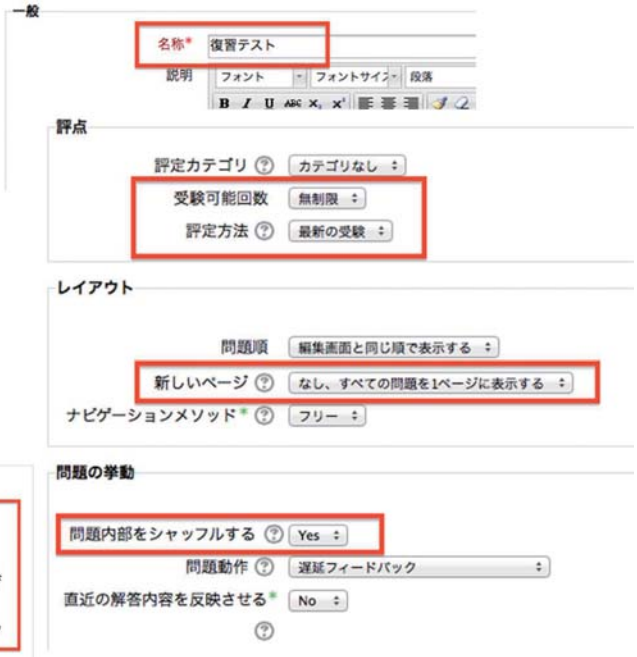
復習テストを作成する

- 目的
  - 重要な問題を学生に理解させる
  - 問題の詳しい解説を学生に提示する
  - 理解できるまで繰り返し学習させる
- 獲得目標
  - 問題に対応した解説（フィードバック）を作成できる
  - 受講期間目的に応じて適切に小テストを設定できる

復習テスト：設定

- 小テストを追加する
- 下記のように設定する
  - 受験回数「無制限」
  - 評定方法「最新の受験」
  - 新しいページ「なし、すべての問題を・・・」
  - 問題内部をシャッフルする「Yes」
  - レビューオプション「すべてにチェック」





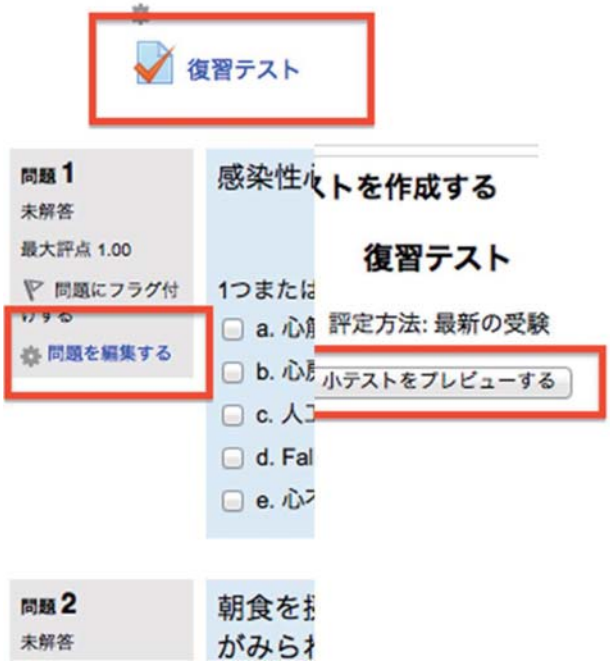
復習テスト：問題の追加

- 設定が完了したら「保存して表示する」し、「小テストを編集する」をクリック
- 「国試過去問」カテゴリを選択し、問題を選んで「小テストに追加する」

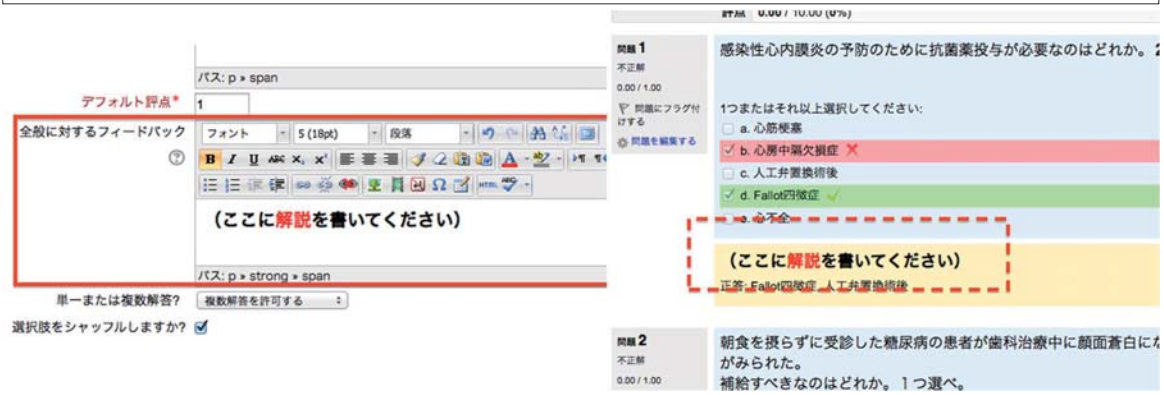


復習テスト：解説の編集

- 「復習テスト」をクリックし「小テストをプレビューする」をクリック
- 解説をつける問題の「問題を編集する」をクリック



- 「全般に対するフィードバック」に解答後の解説を記載し「変更を保存」
- 小テストに解答し「次へ」「すべてを送信して終了する」をクリック
- 記載した解説が表示されることを確認

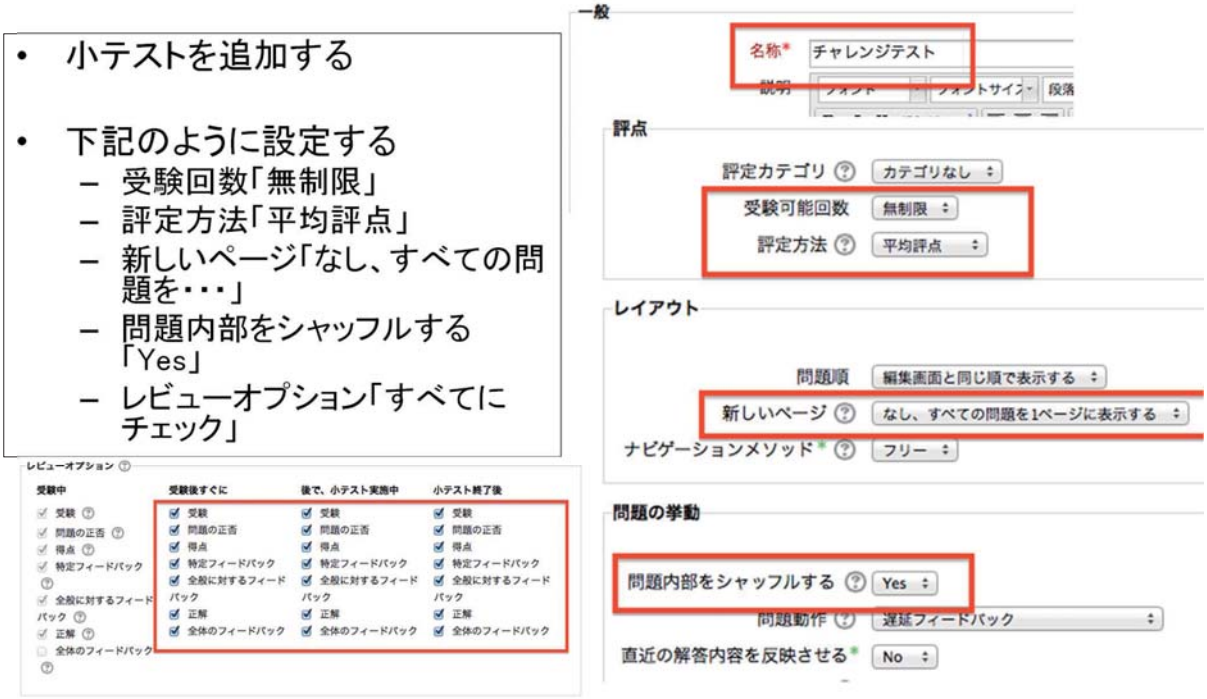


チャレンジテストを作成する

- 目的
  - 学生にたくさんの問題を解かせる
  - 授業の空き時間や家庭などでも手軽に学習できるようなコンテンツを提供する
- 獲得目標
  - 指定された問題バンクからランダムに小テスト出題できる

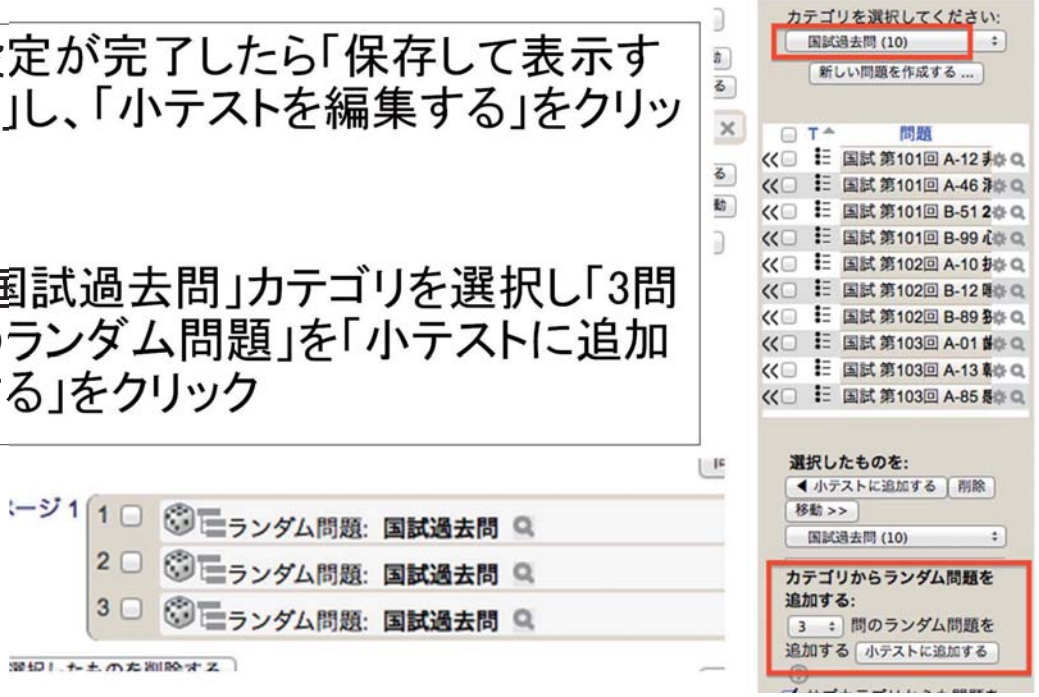
チャレンジテスト：設定

- 小テストを追加する
- 下記のように設定する
  - 受験回数「無制限」
  - 評定方法「平均評点」
  - 新しいページ「なし、すべての問題を・・・」
  - 問題内部をシャッフルする「Yes」
  - レビューオプション「すべてにチェック」



チャレンジテスト：問題の追加

- 設定が完了したら「保存して表示する」し、「小テストを編集する」をクリック
- 「国試過去問」カテゴリを選択し「3問のランダム問題」を「小テストに追加する」をクリック



第2回 moodle 体験実習「小テストの設定一覧」

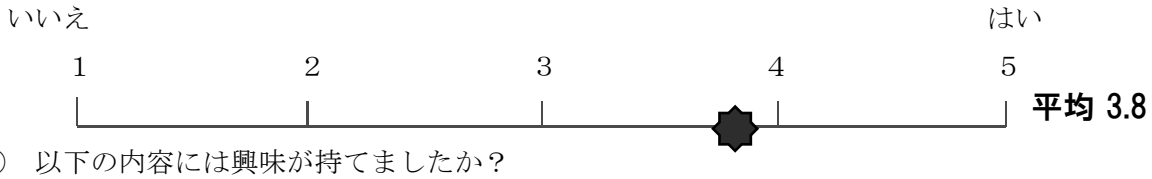
2014/6/25 作成

分類	項目	選択項目	Yes の場合の指定項目	説明	第1回模擬試験	第2回模擬試験	復習テスト	チャレンジテスト
受験制限	公開日時	Yes/No	年月日時分	いつから利用できる	No	No	No	No
	終了日時	Yes/No	年月日時分	いつまで利用できる	No	No	No	No
	制限時間	Yes/No	週日時分秒	1回のテストの制限時間	No	No	No	No
	パスワード	Yes/No	（半角英数字）	パスワード制限をかけるか？	No	No	No	No
評点	受験可能回数	1回/ . . . /10回/無制限		何回受験できるか？	1回	1回	無制限	無制限
	評点方法	最高点/平均点/最新の点/最初の点	（上記1回の場合は不要）	複数回受験した場合の評点方法は？			最新	平均
レイアウト	問題順	固定/シャッフル		出題される順番は？	固定	固定	固定	固定（ランダム問題）
	１ページあたりの問題数	全て/１問/2問/. . . /フリー		問題が複数の場合にページをどのように分けるか？	全て	全て	全て	全て
	ナビゲーション	フリー/順次	（上記全ての場合は不要）	自由に解答させるか順番に解答させるか？				
問題の挙動	選択肢のシャッフル	Yes/No		選択肢の表示順が受験の度に毎回変わるか？	No	No	Yes	Yes
レビュー	問題の正否	Yes/No		正否を表示するか？	Yes	Yes	Yes	Yes
	得点	Yes/No		得点を表示するか？	Yes	Yes	Yes	Yes
	フィードバッ	Yes/No		解説を表示するか？	No	No	Yes	Yes
	正解	Yes/No		正答を表示するか？	No	No	Yes	Yes

第２回 e-ラーニング教材作成セミナー アンケート

第2回　e-ラーニング教材作成セミナー　アンケート

①　本日のセミナーはニーズに合っていましたか？

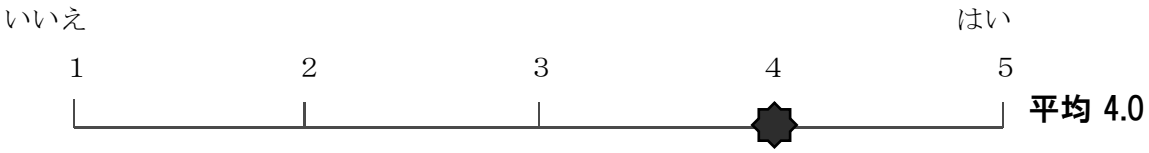


②　以下の内容には興味が持てましたか？

１）Part1:Active learning　反転授業：基本は事前学習、授業で応用力をつける



２）Part2：学生の弱点を見つけ、反復学習



3）moodle体験実習



3.　よく理解できなかった内容があれば〇をつけて下さい。

1）Part1：Active learning　反転授業：基本は事前学習、授業で応用力をつける
2）Part２：学生の弱点を見つけ、反復学習 **（2名）**
3）moodle体験実習
   1. 第1回模擬試験の作成
   2. 第2回模擬試験の作成
   3. 復習テストの作成
   4. チャレンジテストの作成
   5. 学生の履修状況、正答率の確認（穴埋め問題）
   6. 学生の履修状況、正答率の確認（MCQ）

4.　今後e-ラーニング教材作成セミナーで取り上げてほしい内容を書いて下さい。

1. 成績不良者の一括管理方法　成績不良分野
2. 分野別のバンクを作る
3. フィードバックの付け足し方
4. ビデオ教材の取り込み方法
5. コースの作成方法
6. 図表入り問題の作成
7. バンク作成方法